



◆三戸 素子(ヴァイオリン) Motoko Mito

桐朋学園大学及びザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学卒業。
「ザルツブルク 国際モーツァルト週間」でソリストとしてデビュー。
以来、ヨーロッパ全域の音楽祭や音楽協会主催のリサイル等で演奏、
オーケストラとの共演も多数。室内楽でも NY カーネギーホールをはじめヨーロッパ、北米、アフリカ諸国で演奏。
92 年より日本に本拠地を移し「クライネス・コンツェルトハウス」を主宰、
同管弦楽団コンサートマスター。毎日学生コンクール審査員も務めている。

◆高田 匡隆(ピアノ) Masataka Takada

桐朋学園大卒業後、ニューヨーク・マンハッタン音楽院及びハンガリー国立リスト音楽院を経て、イタリア国立サンタ・チェチリア音楽院を首席で卒業。
日本音楽コンクール優勝、仙台国際音楽コンクールほか、国内外の数々の国際コンクールで入賞、優勝を果たす。以来、国内外の音楽祭ほかに招かれ、また数々のオーケストラと共演するなど国際的に活躍。現在、桐朋学園大、東京音大講師。学生音コン、日本音コン他の審査員も務めている

◆小澤 洋介(チェロ) Yosuke Ozawa

トロント大学を経てザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学卒業。
ザルツブルグ室内オーケストラの首席チェリストを務めるかたわら、ヨーロッパ各地で演奏。以来ソリストとしてオーケストラとの共演や指揮、チェロ一本の独奏による「小澤洋介の世界」等多彩に国際的に活躍。92 年帰国。「クライネス・コンツェルトハウス」を主宰。同管弦楽団を率いている。「音楽の友コンサート・ベストテン」に選出多数。CD、YouTube でも好評を博している。



コンサート<響 HIBIKI>と求道会館

求道会館は、ヨーロッパの教会と日本の寺社建築の様式が融合した仏教の説教場で、建築家武田五一が設計し、大正4年(1915)に竣工しました。50年もの長い間、閉鎖され荒れていましたが、東京都の有形文化財の指定を受け平成14年に創建当初の姿に復元されました。

煉瓦造りで内装には木がふんだんに使われ、吹き抜けの空間に豊かに音が響く、この会場でのコンサーに、私達は「響 HIBIKI」というタイトルをつけました。

- ◆歴史的建造物なので、入口・御手洗などでご不便をお掛けする場合があります。
- ◆入館時は、靴を脱いでスリッパにはきかえていただきますのでご了承ください。
- ◆1階は椅子席です。2階は板床に座布団を敷いてお座りいただきます(低めの段差に腰掛けるかたちになります)。

骨髄バンクを支援する東京の会について

連絡先 e-mail : marrow_tokyo@yahoo.co.jp

私たちは日本に骨髄バンクができる前、1990年6月に「公的骨髄バンクを望む東京の会」として発足したボランティア団体です。骨髄バンク(旧:骨髄移植推進財団)設立後は、ドナー登録者の拡大を目指して都内各所でドナー登録会の開催や、普及啓発活動을続けて参りました。現在は、日本骨髄バンクや日本赤十字社と協力して、献血ルームや都内の大学、企業などの献血会場(献血車等)で、説明員としてドナー登録を希望する方に骨髄ドナーについて説明したり、イベント会場で普及啓発を行うなど、一人でも多くの血液難病の患者さんにドナーが見つかるよう活動しています。このコンサートも出演者の三戸さん達と共に 30 年以上続けています。収益は骨髄バンクを広く知っていただくための活動資金として大切に使用させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

チケットのお申し込み方法(当日現金支払いをご希望の方)

電子チケット [teket] をお求めの方は、表面をご覧ください。

フォームに入力して申込み

右の二次元コードを読み取り、お申し込みフォームにアクセスして必要事項を入力してください。



メールを送って申込み

東京の会<marrow_tokyo@yahoo.co.jp>宛に、下記の通りお申込みください。

件名: 2026 コンサート申し込み
本文: 1,お名前 2,電話番号 3,希望人数 を 明記



東京の会公式キャラクター
アモレちゃん

◆申し込み確認後 数日以内に「受付確認済」のメールを差し上げます◆

◆キャンセルの場合は、事前に必ずメールでお知らせください◆



東京の会公式キャラクター
ドネル君